

職業インタビュー ● 美しい仕上がり腕自慢！ 「塗装職人」になりたい

ペンキなどの「塗料」を塗って、汚れやいたみから守る技術を「塗装」といいます。ヨーロッパでは、18世紀の産業革命で建物、機械、鉄道などに鉄が使われるようになり、塗装の技術が発展しました。地域で活躍する塗装職人、釘田一郎さんを訪ねました。

取材協力：首都圏建設産業ユニオン 釘田塗装 / 写真と文：河原潤子



現場にあるパネルで仕事の記録を残します。



さまざまな塗料と道具を使いやすく並べています。



国から認められた「一級塗装技能士」の資格を持つ塗装職人、釘田一郎さん



息子の真明さん「覚えることがいっぱいです」



親子で息の合った仕事をします。



どんな所にも身軽に塗ってゆきます。

①いっしょに働く、息子の釘田真明さん 都立の工業高校を卒業して、一度ほかの会社で働いてから、父の仕事を手伝うようになりました。登録している職人が、自分の技術を広く知らせることができるキャリアアップシステムがあるので、これからは国際的に通用するSHOKUNINをめざしてがんばります。